

◆◆◆◆模擬授業◆◆◆◆

大学の授業を体験してみよう

7/21(土) ※文学部・公共政策学部

和漢比較文学の学び—百人一首と中国(漢)文学—

山崎 福之 教授(日本・中国文学科)

「和漢比較文学」という言葉は、高校生の皆さんにとってなじみの薄いものかもしれませんが、日本文学と中国文学の両方を視野に収めて、幅広く学んでいく研究分野です。他の大学にはない、府立大学日本・中国文学科の大きな特色ある分野と言えます。今回は、古典文学の中から百人一首を採り上げて、文屋康秀の歌（吹くからに）と、清少納言の歌（夜をこめて）に見られる中国文学との関わりについて具体的にお話します。

アメリカ国家形成における言葉のはたらき

出口 菜摘 講師(欧米言語文化学科)

言葉が発せられるとき、そこでは何が起きているのでしょうか。シンプルなこの問題を、「アメリカ独立宣言」（1776）と「ゲティスバーグ演説」（1863）を読みながら考えたいと思います。この2つは世界史の教科書にも必ず取り上げられ、それぞれ「すべての人間は平等につくられている」、「人民の人民による人民のための政府」のフレーズで有名です。この模擬授業では、アメリカが自国を語るとき「言葉」に注目し、アメリカという国がどのように形成されたのかについても考えます。

海を渡った倭人たち—古代の日朝関係—

井上 直樹 准教授(歴史学科)

日本列島と朝鮮半島ではこれまで多くの人々やモノが行き交ってきました。とりわけ古代においては、日本列島の人々は朝鮮半島との交流を通じて先進文物を受容していき、やがて独自の国家・文化を形成しました。それゆえ、それら文物を日本に将来した渡来人は日本古代国家形成上、注目され、これまで多くの研究がなされてきました。しかし、その一方で日本列島から朝鮮半島に渡り、倭と古代朝鮮諸国間で活躍した人々もいました。そこで、本講義では倭から朝鮮半島へ渡った人々の活動を論じつつ、古代日朝関係の一側面を論じてみたいとおもいます。

双方向授業を体験しよう

竹部 晴美 講師(公共政策学科)

この授業では、皆さんの意見を聞きながら法律を身近に感じていただくことを狙いとしています。とくに私たちの生活に関係の深い民事法を扱います。実際に普段の生活では法は意外なほど深く関わっているのです。例えば、風邪をひいて薬を買った時も、買うことは“契約”の問題になりますし、その薬で多くの人に副作用がでたら損害賠償を求める“不法行為”の問題になります。この授業では、実際に起こった日本とアメリカの事例を紹介しながら、皆さんに参加していただく授業を目指します。

「北欧の福祉社会」から人間の幸福を考える

上掛 利博 教授(福祉社会学科)

福祉とは「かわいそうな人を助けてあげる」ことではありません（専門用語では「選別主義の福祉」と言います）。人間はみんな年をとるわけですし、誰がいつ事故に遭うのかもわかりません。「みんなが幸せに暮らせる社会を創る」のが福祉の仕事です（こちらを「普遍主義の福祉」と呼びます）。そのためには、①相手の立場に立って考える、②人間が持っている能力（生きる意欲）を引き出す、③住宅、労働、教育、医療、環境などの諸分野と協同することが大切です。この講義では、福祉先進国として知られる「北欧の福祉社会」の実際を映像で視ながら、「人間の幸福」とはなにかを考えます。

7/22(日) ※生命環境学部

生命環境を“化学”する

矢内 純太 教授(生命分子化学科)

化学は様々な物質を定性的また定量的に評価することを可能にしてくれるので、我々が世界を認識する重要な手段のひとつです。本授業では、「物質をはかる」ことの原理を、原子や分子の性質を利用した「吸光度法」を例にとって説明するとともに、生命環境における窒素やリンなど各種物質の動態を評価する、環境分析化学の研究の一端を紹介します。

作物の起原と進化

大迫 敬義 講師(農学生命科学科)

私たちの生活に欠かすことのできない食料をもたらす数々の作物は、かつての人類が利用していた野生植物から、有用な性質を持つものが繰り返し選抜された結果できあがった特殊な植物です。様々な作物がいつ、どこで、どのような祖先から由来したのか、という作物の成り立ちを知ることは、品種改良を通じた食料問題の解決にとっても重要です。この講義では、イネやトウモロコシなど主要な作物の進化についての最新の研究成果を分かりやすく解説します。

食事で病気は予防・治療できるの？ 病態栄養学入門

和田 小依里 講師(食保健学科)

がん発症は遺伝か食生活かどっちの影響が強いのか？糖尿病は食生活を改善したら治るのか？サプリメントは何をどれくらい摂取したら体にいいの？「あなたは、あなたの食べたものでできている。」という言葉があるように、食物は人の体をつくり健康に大きな影響を与えますが、その詳細はまだ十分には解明されていません。食による病気の予防と、さまざまな疾患における栄養療法の可能性について解説し、栄養の専門家である管理栄養士の臨床的役割を概説します。

模擬実験 物理・化学・生物・情報・数学

学科教員全員(環境・情報科学科)

大学の研究室での実験を体験してみてください。つぎの5つの実験から学科ガイダンス、懇談会時に実験を選んで頂きます。各実験は、5つの主専攻と対応しています。

- 物理：霧箱を作って放射線を見よう
- 化学：いろいろな化学反応を試してみよう、見てみよう
- 生物：植物からDNAを取り出してみよう！
- 情報：コンピュータサイエンスを体験してみよう
- 数学：パソコンで“数学”を動かしてみよう（デモ）

日本の生活文化とインテリアデザイン

大場 修 教授(環境デザイン学科)

この授業では、日本の伝統的な住文化、生活文化にねざしたインテリアデザインのあり方について、西洋やアジア諸国と比較しつつ考えます。具体的には、「インテリアデザイン」という発想自体がそもそも西洋からもたらされたものだということを、背景とともに説明したうえで、日本におけるインテリアデザインの考え方を示して、日本においては「片付ける」ことが重要で、収納空間が不可欠であることを、豊富な事例をスライドで示しつつ、お話ししたいと思います。

森を守り活かす ～ IT時代の森林管理技術 ～

田中 和博 教授(森林科学科)

今年1992年の地球サミットから20年、リオ+20の年です。地球温暖化の防止と生物多様性の保全は人類の重要課題ですが、両方とも森林と深く関係しています。土水を保全する森林を適切に管理し、再生産可能な木質資源を有効に利用することは、持続可能な社会を構築するために取り組まねばならない課題です。本授業では、リモートセンシングやGIS（地理情報システム）等を応用したIT時代の森林管理技術について紹介します。